

第1項

生活道路と河川・水路の整備



目標 人や車が安全に道路を利用できるまち

数値目標	市道改良率 ^{※44}	2005年度	48.8%
		2011年度	50.0%

取り巻く環境(現状と課題)

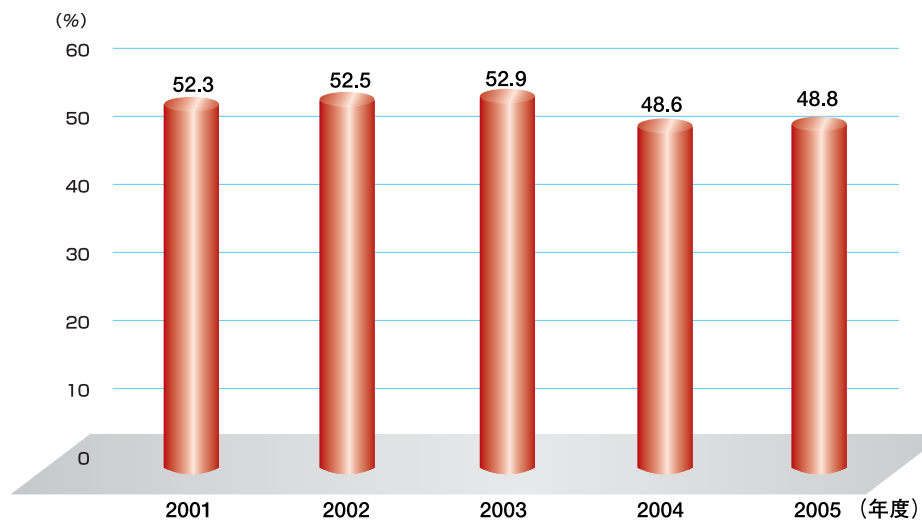
生活道路の安全性確保

生活道路は、市民に最も身近な道路で生活に欠かせないものであり、自動車だけではなく、自転車や歩行者にも安全な道路の整備が必要です。

水害などに強いまちづくり

近年、全国的に水害が発生し、本市においても、梅雨や台風時の降雨による災害が発生しており、防災対策や安全性、また衛生上の観点からも河川や水路の整備が必要です。

市道改良率の推移



(資料) 福山市資料

44 市道改良率:市道総延長のうち、道路幅4m以上の市道の割合のこと。(算式)改良延長(km)÷実延長(km)×100

「目標」を達成するための取組

生活道路の整備

市民の日常生活に密着した道路、橋りょうなどを計画的に整備し、適正な維持管理を行います。

- 道路・橋りょうの新設・改良
- 道路・橋りょうの維持補修

河川・水路の整備

河川の堤防の整備や水の流れが悪い水路の計画的な整備などを進めます。

- 河川・水路の整備



段差をなくし安全性に配慮した生活道路



河川の整備

市民として



道や川をきれいにしましょう。

第2項

上水道の充実



目標	いつでもどこでも安心して水道の水が飲めるまち	
数値	水道を使っている市民の割合(普及率)	2005年度 95.5%
		2011年度 95.8%
目標	古い水道管を災害に強い管に取り替えた割合(耐震化率)	2005年度 4.6%
		2011年度 13.8%

取り巻く環境(現状と課題)

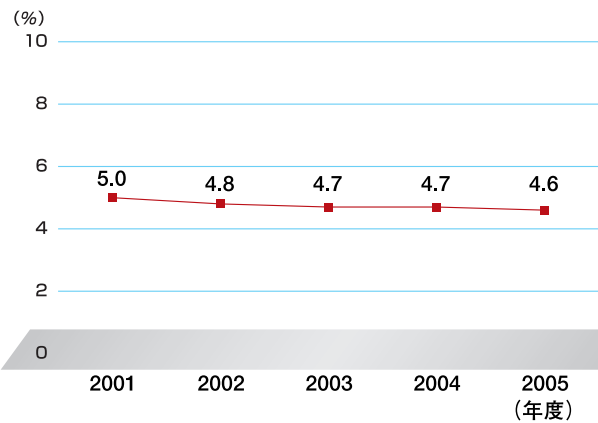
安全でおいしい水づくり

水源の確保や浄水場などの整備により、安全で良質な水を給水しています。今後も、健全な経営に努めながら、効率的・計画的に事業を進めることが必要です。

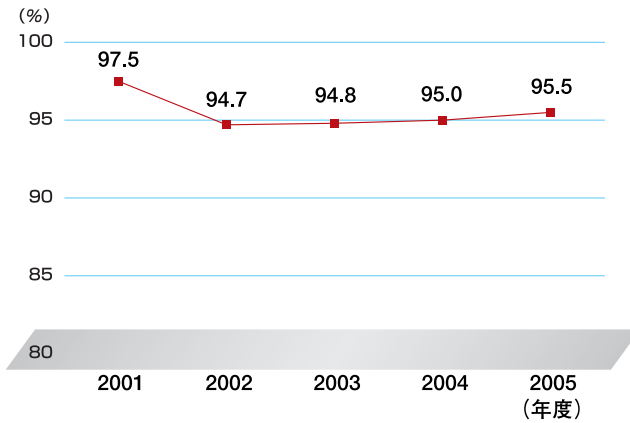
命を守る水道

水道は、市民生活や産業などを支える欠かせない重要な施設です。ライフラインとして地震などの災害に強い施設整備を進めることが必要です。

上水道の耐震化率の推移



上水道の普及率の推移



(資料) 福山市水道局資料

「目標」を達成するための取組

安心・安全な給水の確保

安全な水を給水するため、施設の適正な維持管理と水質管理体制を充実するとともに、安定した給水や未給水地区を解消するため、配水管の整備を進めます。

- 水道水質の安全性・信頼性の確保
- 効率的・計画的な施設整備
- 未給水地区の解消

災害対策の充実

地震などの災害に備え、配水管の耐震化や給水拠点の整備を進めます。

- 災害など緊急時に強い施設整備
- 危機管理体制の強化

利用者サービスの向上

水質など市民の多様なニーズを把握し、きめ細かく質の高いサービスを提供するとともに、健全で効率性の高い経営に努めます。

- 利用者サービスの向上
- 経営の効率化・健全化



水道管の耐震化



安全な水道水の安定した供給

市民として



自然を守り、水を大切に使いましょう。

第3項

下水道の整備



目標

きれいな川や海で遊ぶ子どもたちの姿が見られるまち

数値目標

公共下水道の 処理人口普及率 ^{※45}	2005年度	61.9%
	2011年度	68.0%
雨水対策整備率 ^{※46}	2005年度	48.8%
	2011年度	52.0%

取り巻く環境(現状と課題)

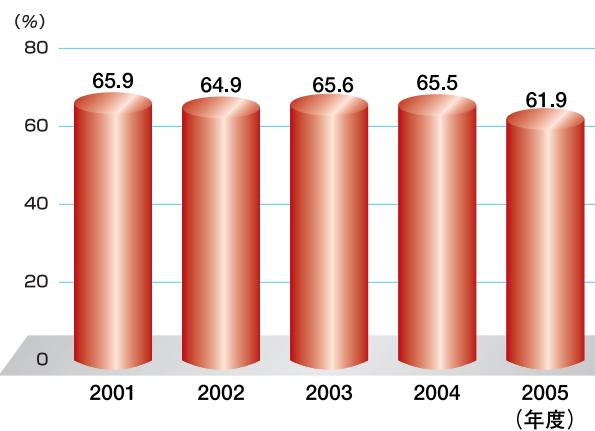
快適な生活環境づくり

快適で潤いのある生活環境を創りだすことやきれいな川をとり戻すため、下水道施設の適正な管理や効率的な整備を進めることが必要です。

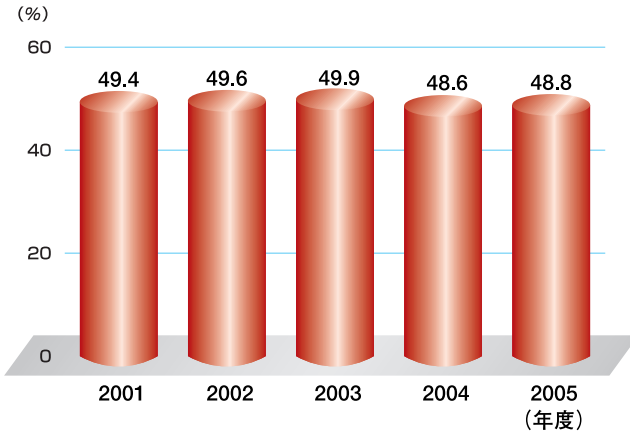
市街地の浸水対策

本市の市街地では、依然として、集中豪雨などによる都市型浸水が発生しており、雨水対策施設の早期整備が必要です。

処理人口普及率の推移



雨水対策整備率の推移



(資料) 福山市資料

45 公共下水道の処理人口普及率:下水道が使える区域内の人口÷住民基本台帳人口
46 雨水対策整備率:市街地内で雨水対策が必要な面積に対する整備済面積の割合のこと。

「目標」を達成するための取組

下水道施設の整備

公共下水道施設を計画的・効率的に整備し、適正な維持管理を行います。

- 公共下水道の整備

雨水対策の強化

雨水対策施設の整備や合流式下水道を改善し、市街地の浸水などの防止や水質保全を進めます。

- 雨水対策の強化
- 合流式下水道の改善^{※47}



下水道啓発事業



市街地を浸水から守る中央ポンプ場の完成予想図(雨水対策の強化)



下水道幹線埋設工事



油や野菜くずを流さないなど、下水道を正しく使いましょう。

47 合流式下水道:汚水と雨水を同一の下水管で排除する方式の下水道のこと。(一定以上の大雨が降ると下水処理しきれなくなる場合がある。)

第4項

住宅・宅地の整備



目 標	住み心地の良い住まいに,住み続けることができるまち	
数 値 目 標	最低居住水準 ^{※48} 未達の世帯の割合	2003年 3.2%
		2011年 2.9%

取り巻く環境(現状と課題)

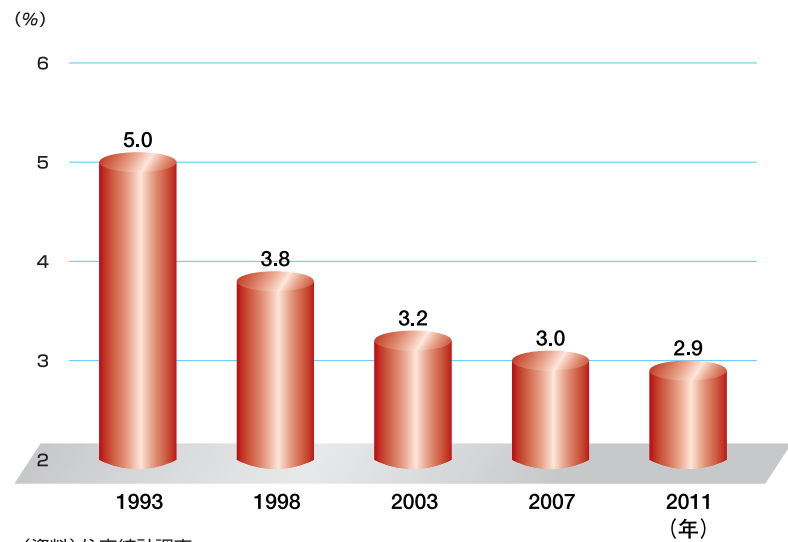
人にやさしい住まいづくり

核家族,一人暮らしの高齢者の増加など社会環境の変化に対応し,高齢者や子どもなどが安心して安全で快適に暮らせる住宅づくりを進める必要があります。また,魅力的なまちづくりのため,景観にも配慮した住宅・宅地の整備も重要です。

良質な住宅の供給

居住環境・水準の向上が求められる中,市営住宅については既存住宅の改善などにより質的向上を図るとともに,民間事業者による高齢者などに配慮した住宅の供給を一層促進することが重要です。

最低居住水準未達の世帯割合の推移と目標



48 最低居住水準:自立した生活を営む上で,家族人数などに応じて,最低限必要とされている部屋数や広さなどの水準のこと。

「目標」を達成するための取組

住宅の整備

良質な公営住宅を提供できるよう計画的に整備を進めます。また,高齢者にも配慮した優良な賃貸住宅の供給などを促進します。

- 市営住宅新築・建替
- 既存市営住宅の改善

宅地の整備

良好な居住環境づくりのため,計画的な宅地整備などに取り組みます。また,民間の宅地開発の指導に努めます。

- 計画的な宅地整備の推進
- 民間宅地開発の指導



山手町市営住宅



民間による宅地開発

市民として

住まいを大切にしましょう。

第5項

斎場、墓苑・墓地の整備



目標

市民が安心できる、斎場、墓苑・墓地が整備されたまち

数値目標

斎場を利用した市民の満足度	2005年度	78.7%	↓
	2011年度	100%	
斎場の数	2006年度	6箇所	↓
	2011年度	7箇所	

取り巻く環境(現状と課題)

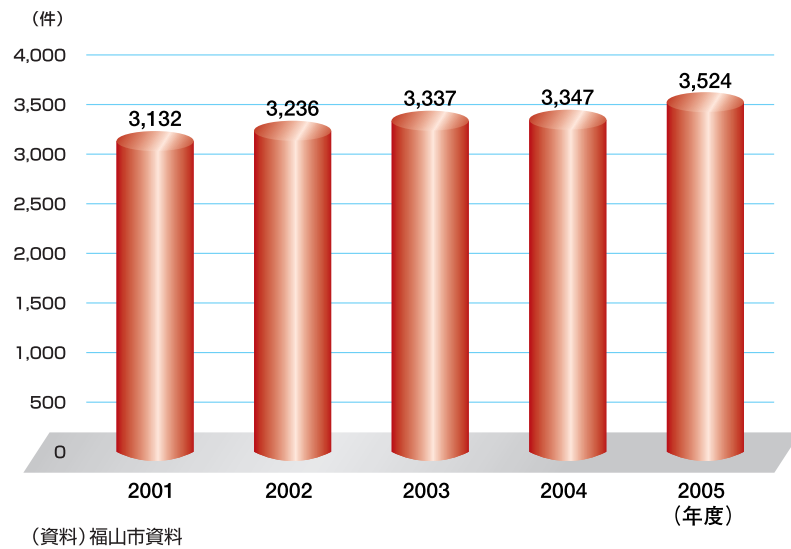
火葬件数の増加

高齢化社会にあって、今後、火葬件数の増加が見込まれます。人生の終えんの場にあふさわしい斎場として整備する必要があります。

墓苑・墓地需要の多様化

少子高齢化による承継者問題などを含め、市民の墓苑・墓地に対する需要は多様化しています。市民の需要に合った墓苑・墓地の整備が必要です。

火葬件数の推移



「目標」を達成するための取組

斎場の整備

将来の火葬需要に対応した施設整備を進めるとともに、火葬炉などの計画的な改修を行い、施設の充実に努めます。

○ 斎場の整備

墓苑・墓地の整備

少子高齢化に伴う承継者の問題などによる多様な需要に対応できるよう、施設の改善や既存の墓苑・墓地の有効活用により環境整備に努めます。

○ 墓苑・墓地の整備



今津墓苑



中央斎場

市民として



墓苑・墓地をきれいにしましょう。

49 斎場を利用した市民の満足度:「斎場利用者へのアンケート調査」による。

第6項

公共交通サービスの充実



目標	すべての人が気軽に利用できる公共交通網が整備されたまち	
数値目標	公共交通機関利用者数	2005年度 19,553,000人
		2011年度 19,800,000人

取り巻く環境(現状と課題)

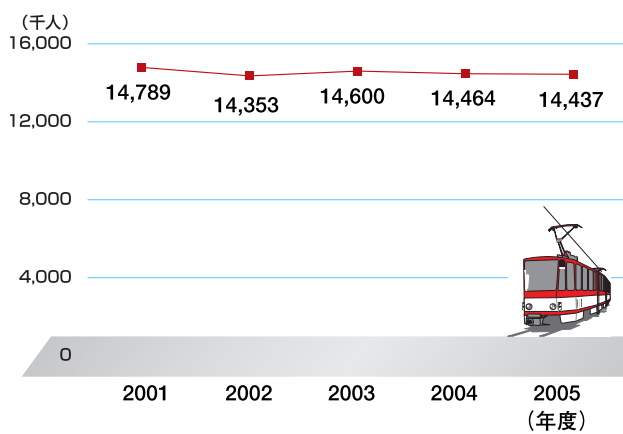
公共交通機関の利用者の減少

自動車を所有する人が増えることで公共交通機関の利用者が減少しています。特にバス利用者の減少は著しく、路線廃止や運行回数の減少などによる市民生活への影響が心配されており、市民みんなで利用していくことが求められています。

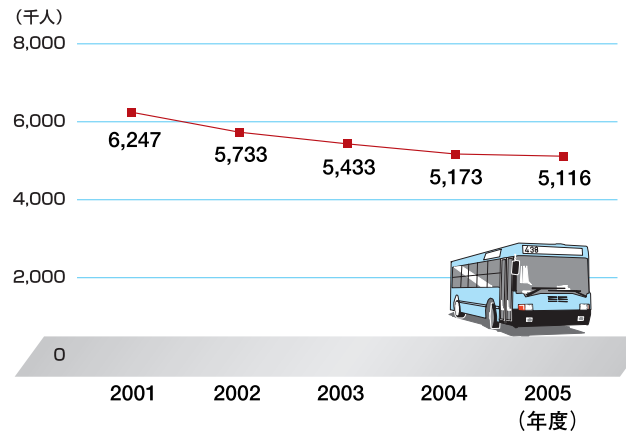
公共交通機関の重要性の増大

自動車の増加による交通渋滞や環境の悪化、高齢者の増加などにより、自動車による移動が困難な人の増加などが課題となっています。このため、安全で一度に多くの人を運ぶことのできる公共交通機関の維持確保が求められています。

鉄道利用者の推移



バス利用者の推移



(資料) 福山市資料

「目標」を達成するための取組

生活バス交通の確保

地域に合った路線の再編を始め、市民が生活バスを利用しやすい取組を進め、市民生活を支える生活バス交通の維持・確保を行います。

- 生活バス交通の利用促進
- 生活バス路線の維持

公共交通機関の充実

自動車に依存し過ぎることのないまちづくりのため、鉄道など公共交通機関の利用を促進します。また、走島定期航路など地域の特性に合った交通手段を確保します。

- 公共交通機関の利便性の向上
- 走島定期航路の維持



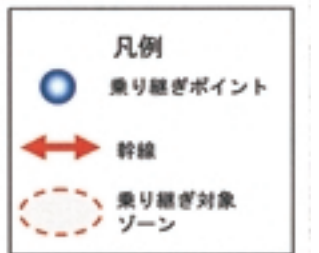
走島定期航路



生活バス(ノンステップバス)



ゾーンバスシステムイメージ図



【ゾーンバスシステム】

市中心部と乗り継ぎポイントを結ぶ幹線バスから、各住宅地などを結ぶ支線バスに乗り継ぐシステム。

市民として



公共交通機関をみんなで支え育てましょう。